

つばた

議会だより

No.159

2021.10.5



9月会議

川井姉妹にスポーツ栄誉賞授与	2
委員会審議 ドローンの活用は	3
請願1件・陳情2件を審査	4
採決状況一覧	6
いっぱん質問 HPVワクチン接種の個別周知をなど 8人が登壇	8



表紙写真撮影：
議会広報調査特別委員 森川 章

ちびるぼいども園の
子どもたち

9月会議

2億5234万円を可決(全員賛成)
7836万円を承認(全員賛成)

総額145億5013万円に

※金額はすべて1万円未満を切り捨てで記載しています

一般会計
補正予算



川井姉妹にスポーツ栄誉賞授与

表彰費 240万円

東京2020オリンピックピック女子レスリング57kg級、62kg級で優勝した当町出身の川井梨紗子選手、友香子選手の功績をたたえて、賞賜金として1人50万円を贈り、10月3日に表彰式等を行う。

9月会議を6日から14日までの会議期間で開催した。
初日には町長から一般会計・特別会計・事業会計補正予算、条例の改正などを含む10件、承認1件、決算の認定11件の議案が提出され、町政全般について8人が一般質問を行った。

議案は、各常任委員会審議を経て、決算の認定を除く全議案を可決し、請願1件を採択、陳情2件を不採択とした。続いて、教育委員会委員の任命について同意し、意見書2件を可決した。

▲姉妹で金メダル!! 大きな感動をありがとう!!

議案第64号

土地の処分

大坪工業団地の一面について、株式会社北上製作所と土地売買契約を結ぶ。
(全員賛成)

処分価格
1億5018万円



▲2020年春造成した新工業団地

承認第10号

専決処分の報告

新型コロナウイルスワクチン接種に必要な予防接種医等報償金、職員手当等、予防接種委託料等が不足するため、7月21日に専決した。

(全員承認)

7836万円

委員会審議

ここが聞きたい!

予算決算、総務産業建設、文教生活福祉の常任委員会で審議されたものについて、主なものを紹介します。

ドローンの活用は

- Q** 操縦士の人数は。
- A** 操縦士登録は7名。現在3名が受講済み。
- Q** 活用計画は。
- A** 行方不明者や熊出没が多くなり、早急に捜索態勢の拡充を図る必要が生じた。



97万円

-消防本部-

会計年度任用職員を

2名増員

- Q** 増員理由は。
- A** マイナンバーカード更新支援業務が主であるが、これまで以上の事務量増加も見込まれる。国の補助金を活用し、増員する。
- Q** 当町の交付状況は。
- A** 8月末時点で1万4027件、交付率は37.38%である。



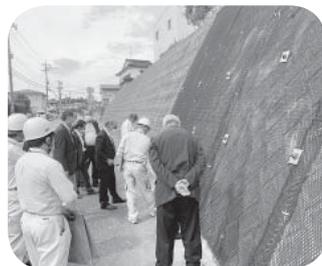
274万円

-町民課-

緑が丘地内法面擁壁

応急対策工事

- Q** 通学路の安全確保は。崩落しないための応急対策工事を行った。さらに大規模な復旧工事の必要があるため、早急に調査する。



393万円

-監理課-

津幡かるたの

配付予定は

187万円

-生涯教育課-

- Q** かるたの対象年齢と活用は。
- A** 小学校中・高学年を対象にしており、来年度中にはかるた大会を開催したい。
- Q** 一般家庭など、希望者への配付はしないのか。
- A** 500セットのうち、300セットの配付を、小学校と公民館に予定



している。
200セットについては未定であるが、放課後児童クラブなどへの配付も検討したい。

7月専決

コロナワクチンの

接種体制は

-健康推進課-

- Q** 集団接種の協力体制は。半日当たり、町内の医療機関から医師2名と看護師4〜5名、救急救命士1名の協力を得ている。8月からは薬剤師1名を増員し、接種人数と時間を拡大し、速やかな接種を可能としている。
- Q** ワクチンに供給不足はないか。
- A** 現在、供給量に不足はなく、計画通り着実に接種が進んでいる。
- Q** モデルナ社製のワクチンを使用しないのか。
- A** 1回目と2回目の接種間隔が短いファイザー社製を使用している。モデルナ社製を使用する場合、新たに保管用の冷凍庫を配備する必要が生じる。

みなさまからの

請願1件・陳情2件を審査

9月会議で審査された請願・陳情の結果をお知らせします。

請願・陳情は、町政に対し意見や要望があるとき誰でも提出することができます。

請願には紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。

採択

出産育児一時金の増額を求め る意見書の提出を求める請願

◎請願者 公明党津幡支部

津幡地区員

沢山とみ子

紹介議員

道下 政博

(全員賛成)

委員会の主な意見

出産育児一時金の増額については、出産時における経済的負担の軽減につながるものであり、少子化対策の一つとなり得るため、本請願は概ね支持できる。

採択された1件の請願は
意見書を内閣総理大臣ほか
関係機関に送付しました

不採択となった陳情

辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情

◎陳情者 「新しい提案」実行委員会

責任者 安里 長徒

全国青年司法書士協議会

会長 阿部健太郎

(賛成2人・反対13人)

委員会の主な意見

令和元年6月会議において、ほぼ同様の請願書が提出されていた。現在の沖縄の状況を鑑みて、多くの沖縄の振興策を講じており、政府の決定事項に賛同できる。

賛成

陳情者の趣旨は、どれも至極真つ当な事である。埋め立ての賛否を問う沖縄県民投票の7割以上が反対の意思を示した。この民意を尊重するならば状況は改善されるはずである。

塩谷 道子議員

人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画の断念」を国に要請すること

◎陳情者 沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」

代表 具志堅隆松

(賛成3人・反対12人)

委員会の主な意見

辺野古基地の建設反対が本旨であり反対である。遺骨が埋められている土砂を基地建設に充てるといふ部分については人道的に見て賛成できる部分がある。

賛成

埋め立て用土砂採取計画の撤回要請は人道上の問題である。遺骨発見現場も採石場の予定地となったことへの驚きではないか。戦没者への冒瀆となるようなことはすべきではない。

塩谷 道子議員

追加議案として

意見書2件を可決

▼委員会発議による意見書

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の充実を求める意見書

提出者 議会運営委員長 洲崎 正昭

新型コロナウイルス感染拡大は、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、国民生活への不安が続いている。この中で地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

よって国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正を確実に実現されるよう、強く要望する。

(全員賛成)

▼採択された請願による意見書

出産育児一時金の増額を求める意見書

提出者 八十嶋孝司
賛成者 小町 実
同 森川 章

令和元年の出生数は86万5234人で、前年に比べ5万3166人減少し過去最少となった。少子化克服に向け、安心して子供を産み育てられる環境を整えるためには、子供の成長に応じた、きめ細かな支援を重ねていくことが重要であり、一時金はその大事な一手であると考えられる。

よって、政府におかれては、現在の負担に見合う形に、出産育児一時金を引き上げることが強く要望する。

(全員賛成)

委員会活動レポート



県森林公園活性化対策特別委員会が
石川県知事へ要望書を提出

8月27日、矢田町長と角井議長、町議会森林公園活性化対策特別委員会が、谷本県知事と面談し、県森林公園の施設整備等について合同で要望を行った。

2年後に開園50周年を迎える森林公園を、今後より安全、快適に利用できるよう、新たな集客施設の整備や人気施設のリニューアル等について、支援と協力を強く要望した。

面談には、当町の焼田県議会議員、森林公園地域振興会代表理事である坂本副町長も同席した。

9月会議 採決状況一覧



○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わらない。「－」

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	結果 (賛成：反対)
議案	小町実	森川章	竹内竜也	八十嶋孝司	西村稔	荒井克	森山時夫	角井外喜雄	酒井義光	塩谷道子	多賀吉一	向道正則	道下政博	谷口正一	洲崎正昭	河上孝夫	
議案第55号	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(15:0)
議案第56号	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(15:0)
議案第57号	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(15:0)
議案第58号	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(15:0)
議案第59号	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(15:0)
議案第60号	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(15:0)
議案第61号～議案第63号	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(15:0)
議案第64号	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(15:0)
承認第10号	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	承認(15:0)
請願第4号	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	採択(15:0)
陳情第1号	×	×	○	×	×	×	×	－	×	○	×	×	×	×	×	×	不採択(2:13)
陳情第2号	×	×	○	×	×	×	×	－	×	○	×	×	○	×	×	×	不採択(3:12)
同意第5号	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	同意(15:0)
議会議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(15:0)
議会議案第6号	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(15:0)

9月会議 提出議案10件 承認(専決)1件

請願1件 陳情2件 同意1件

議会議案2件

- 議案55 令和3年度一般会計補正予算
観光宣伝推進費として「ほっと石川観光プラン推進ファンド」の貸付金 他(2億5234万円の増)
- 議案56 令和3年度国民健康保険特別会計補正予算
令和2年度からの繰越金(2708万円の増)
- 議案57 令和3年度介護保険特別会計補正予算
令和2年度からの繰越金他(9251万円の増)
- 議案58 令和3年度簡易水道事業特別会計補正予算
配水管漏水修繕他(170万円の増)
- 議案59 令和3年度バス事業特別会計補正予算
川井姉妹祝賀車両ステッカー購入費他(416万円の増)
- 議案60 令和3年度病院事業会計補正予算
内視鏡システム一式購入費(2000万円の増)
- 議案61 町個人情報保護条例及び町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
デジタル改革関連法による関係条例の改正
- 議案62 町税条例の一部を改正する条例
個人町民税関係において、寄付金税額控除の見直し、セルフメディケーション税制の延長、均等割・所得割の非課税限度額の見直しによる関係条例の改正

- 議案63 町半島振興対策実施地域における固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例
期間を令和5年3月31日までに延長
- 議案64 土地の処分
大坪工業用地区画を株式会社北上製作所に売却
専決処分(令和3年度一般会計補正予算)
新型コロナウイルスワクチン接種事業(7836万円の増)
- 承認10 出産育児一時金の増額を求める意見書を求める
4ページに紹介
- 請願4 4ページに紹介
- 陳情1 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決すべきとする意見書の採択を求める
4ページに紹介
- 陳情2 人道的見地から、沖縄防衛局による沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画の断念を国に要請する
4ページに紹介
- 同意5 町教育委員会委員任命につき同意を求める
山本祝男氏を任命する
- 議会議案5 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
5ページに紹介
- 議会議案6 出産育児一時金の増額を求める意見書
5ページに紹介

7月会議

7億1824万円で請負契約を締結

待望の屋内温水プール 本格着工



▲起工式の様子（9月3日）

7月19日に7月会議を開催し、条例の改正や請負契約の締結などを含む議案5件が上程され、各常任委員会の審議を経て可決した。



議決結果

7月会議 採決状況一覧

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議長は採決に加わらない。「－」

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	結果
議案	小町	森川	竹内	八十嶋	西村	荒井	森山	角井	酒井	塩谷	多賀	向道	道下	谷口	洲崎	河上	結果 (賛成：反対)
	実	章	也	孝	稔	克	夫	外喜雄	義光	子	吉一	正則	政博	正一	昭	夫	
議案第50号	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決(14：0)
議案第51号～議案第54号	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決(14：0)

7月会議提出議案 5件

議案50 町手数料徴収条例の一部を改正する条例
個人番号カードの再交付手数料の項目を町条例から削除

請負契約の締結
議案51 (津幡町住吉公園温水プール建設工事(建築))
議案52 (津幡町住吉公園温水プール建設工事(電気設備))
議案53 (津幡町住吉公園温水プール建設工事(空調設備))
議案54 (津幡町住吉公園温水プール建設工事(給排水衛生設備))

追跡

あの質問のゆくえ

これまでに行われた質問や提言がどう取りまとめられたかをレポートする。

ドローン導入を町独自に進めよ
令和2年12月会議 八十嶋 孝司 議員

答 弁

用途、財源、費用対効果などを検討する。

その後

消防本部にドローン1台を配備

消防業務のみならず、大雨等の災害時には総務部と連携した災害現場把握や、産業建設部と連携しての熊出没時の対応等、全庁的な対応を進めていくことで町民の安全・安心を図っていきたい。

を問う

一般質問とは、議員が町政全般について町長など執行機関に考えや方針を問うものです。制限時間は1人30分以内で、一問一答で行われます。

みちしたまさひろ
道下政博 議員



子宮頸がん

HPVワクチン

接種の個別周知を

公費助成の明確な期限の

周知を行う

道下 議員

HPVワクチンは、平成25年4月より定期接種となつているが、接種的推奨は差し控えられてきた。

国が昨年10月、全額公費負担となる小学校6年生から高校1年生までの対象者に対して、個別に情報提供、徹底するよう指示したと聞く。周知する考えは。

石黒 健康推進課長

町ホームページにおいて他の予防接種と同様に周知しながら、希望者に接種券を交付している。

子宮頸がん予防接種は、標準的な接種期間が中学校1年生となつていることから令和3年2月に、対象となる女子中学生の保護者に情報提供を行った。

今後は、小学校6年生、中学校1年生の対象者に対して、10月上旬に個別に情報提供を行う予定であり、リーフレットを同封して公費助成の明確な期限の周知を行う。

※HPV
子宮頸がん全体の50%の原因とされる2種類のヒトパピローマウイルス（16型と18型）のこと。

小中学校のオンライン授業の対応は

配信の準備を進めている

コロナ禍



▲新しい学習スタイル

道下 議員

コロナ禍の中、小中学校の2学期が始まった。8月には、小中学生を含む子どもたちの感染も報告されている中、登校授業、オンライン授業を含めた学校での対応策は。

吉田 教育長

今後、休業等の措置をとった場合に、オンライン授業などに対応できるよう1人1台端末の使用の準備を進めている。

具体的には各教室で1人1台端末のゲーグルクラスルームなどの機能を使い、朝の会をしたり、担任から課題を受け取り、できたら提出するような活動に取り組んだりしている。

その他の質問

Q 認知症の早期発見へ、あたまの健康チェックの導入を。

A 現在活用中の基本チェックリストを今後にも利用する。

Q 金沢地方気象台との連携状況は。

A 連携の強化を図っている。



もり かわ ちろ
森 川 章 議員

抗原検査キットを常備せよ

早急に検討したい

新型コロナウイルス

森川 議員

PCR検査で陽性判定を受けた後に、その濃厚接触者へのPCR検査が行われるためタイムラグが生じ、問題だ。感染疑いのある方には、すぐに抗原検査を実施し早期に感染者を発見することが感染拡大防止につながる。抗原検査キットを町で常備し、早期の感染検査体制を整えよ。



唾液中で検査

羽塚 健康福祉部長

抗原検査キットは、PCR検査よりも精度が低く、結果が陽性、陰性のどちらの場合であっても医師の判断がない限り判定が確定しない。今後、国から配布されるキットの状況を踏まえ、必要時に対応できる体制が確保可能か、また、検査キットには使用期限もあることから、町として常備すべきかを早急に検討したい。

熊 出 没

抑止策を図れ

害獣抑止に努める

森川 議員

ことしの熊出没状況や、昨年の状況から推察すると、冬眠前の熊が市街地や農山村集落地へ出没することが危惧される。

野生動物の人里への出没抑制に向け、いしかわ森林環境税等の財源を活用し、竹林の伐採や森林の管理に努め、さらなる害獣抑止策を図れ。



▲県発行のリーフレット

吉岡 産業建設部長

いしかわ森林環境基金を活用して、一部の地区において、住宅地と山林の間を一定幅で伐採を行い、山林から住宅地への動物の侵入を抑止する目的で緩衝帯整備を行い、害獣抑止に努めている。今後にも必要に応じて、県や地元区と協議しながら、緩衝帯整備事業を有効活用して、害獣抑止に努めたい。

その他の質問

- Q コロナ禍での救急搬送の実情を聞く。
- A ことしは搬送困難事案が3件あった。
- Q オンライン授業の準備を図れ。
- A ささまざまな準備を進めている。



リーフレット「クマにご注意!!」



あらい まする 荒井 議員

レスリング

ジュニアクラブを 設立せよ

前向きに取り組みたい

荒井 議員

矢田 町長

当町出身の川井姉妹が、東京オリンピックで見事に金メダルを獲得した。この素晴らしい結果を生かし、ジュニアレスリングクラブの設立と、競技施設の早期計画を進めよ。

より多くの子どもたちにレスリング競技に関心を持ってもらえるような施策を進めて行く。

レスリング場開設に向けては、まずは、ジュニアクラブの組織づくりや指導者の確保を先決すべき課題とし、前向きに取り組むたい。



▲有力な候補地 サンライフ津幡

2人目への支援を

半額にすることを検討する

保 育 料

荒井 議員

矢田 町長

当町の保育料は、年収640万円以下で、18歳未満児童を3人以上養育する世帯の2人目が半額、3人目が無料となっている。この制度を、2人目以上養育する世帯の2人目を半額とし、今後の人口維持に効果的な施策を。

0歳から2歳児の保育料について、2人養育世帯の2人目を半額にすることに加え、さらに軽減となるよう、多子世帯の基準を18歳未満の児童を3人以上養育する世帯から2人以上にすることや、この対象世帯の所得制限を撤廃する。

4年度から、該当世帯を拡大できるよう検討する。



▲楽しく散歩



こまち 小町 実 議員

新型コロナウイルス

ワクチン接種、若年層への取り組みは

時間延長など工夫している

小町 議員

若年世代への正しい情報発信と接種率向上が課題となっている。ワクチンを接種したい気持ちはあるが、副反応が怖いとの意見を聞く。今後接種率向上に向けた町独自の若年層への取り組みを問う。



副反応は大丈夫かしら

羽塚 健康福祉部長

副反応が心配な方への周知として、接種券郵送時に情報提供するとともに、受付でチラシ配付を行っている。

土日の集団接種では、接種枠を多く確保するため、土曜午後、および日曜午前・午後の時間をそれぞれ1時間延長し、4時間としている。半日4時間で、18時までの実施は、近隣でも本町のみに対応である。

つばた幼稚園

閉園後の

施設利用計画を示せ

教育・福祉の拠点施設として再整備する

小町 議員

3年度に閉園となるつばた幼稚園の施設利用について、気温や天候に左右されず、子育て世代の方々が利用しやすく、また、楽しく集えるような室内遊戯施設などへの改装を提案する。閉園後の施設活用について、考えを聞く。

矢田 町長

社会福祉協議会と親子支援センター、ファミリー・サポート・センター、教育センター、将来的には、子育て支援センターの機能を集約した複合施設を予定し、当町の大きな施策である、安全・安心で子育てにやさしい町を具体的に推進する拠点施設として再整備したい。

また、適応指導教室の開設も考えている。切れ目のない子ども・子育て支援の実施を推進したい。



▲どう変わるのかな



こ 道 子 議員
みち 子
たに 道
しお 谷
塩 谷

給 食 費

中学3年生を全員無償に

現在のところ、予定はない

塩谷 議員

町は小中学校に同時に3人以上の子どもの家庭に対し、助成を行っている。3人以上の子どもがいる家庭は何世帯か。

児童生徒を3人以上有する多子世帯の保護者に対し、低年齢の2人を除いた高年齢の児童生徒分の学校給食費を助成しており、昨年度は109世帯113人分の助成をした。

矢田 町長

現在のところ、中学校3年生全員の給食費を無償化する予定はないが、学校給食費に関する制度については、引き続き調査、検討する。



▲コロナ禍で黙食

赤字生産に手当てを

保険等の活用で補填される

米 価 格



▲お米を食べよう!

塩谷 議員

石川県のコシヒカリの米価は前年より1,800円下落の1万1200円である。お米1俵の生産経費は、国の調べでは1万5000円を超えているので、米生産農家は赤字生産を強いられる。米価に上乗せするなど、自治体として何かできることはないのか。

本多 産業振興課長

ここ数年、主食米の需要量は人口減少・高齢化などで年間約10万トンが減少している。さらに新型コロナウイルス感染症により、中食・外食事業者向けの販売量が減少し、2年産の米価下落に影響したとされている。

米価下落等により収入が減少した場合、国が実施する収入減少影響緩和対策、いわゆるナラシ対策もしくは農業共済組合の収入保険の活用で、減収の約9割が補填される。

その他の質問

Q 大河ドラマ誘致活動の中止を。

A 中止の予定はない。

Q 児童生徒を新型コロナウイルス感染症から守れ。

A さらに対策を検討する。



議員 八十嶋 孝司

川井姉妹の顕彰碑 設置を

現時点では考えていない

金メダル

八十嶋 議員

東京オリンピックで、町出身の川井姉妹は金メダル獲得の大偉業を成し遂げた。世界の人々と国民に感動を与え、当町の名を世界に広めた功績は誠に大きい。その姉妹の功績をたたえ、未来永遠に形として残すための顕彰碑の設置を提案する。



▲五輪選手の石碑 (いしかわ総合スポーツセンター)

矢田 町長

姉妹そろつての金メダルという快挙に対して、その榮譽をたたえ、スポーツ榮譽賞を10月3日に授与する。顕彰碑設置に値する大きな偉業であると思うが、お二人の競技人生が終わりではなく、今後さらさらに活躍・飛躍を続けられるとも思っており、今のところ顕彰碑の設置は考えていない。

新型コロナ

教育現場での

感染対策は

可能な限りの

感染防止対策を講じる

八十嶋 議員

全国で新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、夏休みが終わり新学期の始まり時期に感染の拡大が懸念されることから、一層の注意が求められる。教育現場での感染対策を示せ。

吉田 教育長

基本的な感染予防対策として、3密の回避、マスクの適切な着用、手洗いなどを引き続き徹底する。

また、毎朝の各家庭での検温や健康チェック、登校時の検温、十分な換気や児童生徒の座席の間隔の確保、給食時の黙食なども継続する。

学校の部活動においては、当面の間、活動時間を短縮するなど、可能な限りの感染防止対策を講じる。



▲抗菌コートの様子



議員 竹内 竜也

医療的ケア児

受け入れ体制の実情は

保護者の協力を 受けている

竹内 議員

医療的ケア児支援法では、ケア児を受け入れ教育を行うための支援体制の拡充を求めている。

ケア児やその家族から、地元の学校に通学したいとの求めがあれば、最大限これに 대응することこそが責務であるが、受け入れ体制の実情は。

吉田 教育長

学校における医療的ケア児の受け入れ体制は、医療的ケアのできる看護師などを学校に配置するなど、の対応には至っておらず、保護者の協力をいただき、児童生徒の通学が可能になっている。

法の制定を受け、今後、学校においても医療的ケア児と保護者からの希望に最大限応えることができるよう、福祉部局とも連携し、学校内で看護師などが医療的ケアを実施できるような体制の整備に向け取り組む。

※医療的ケア

人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為をいう。

※医療的ケア児

日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケアを受けることが不可欠である児童。

小学校へのエレベーター整備を急げ

施設整備に努める

バリアフリー



▲バリアフリー基準が拡大されました

竹内 議員

国は学校施設のバリアフリー化について、7年度末までに要配慮児童生徒等が在籍する全ての学校にエレベーターを整備するとしている。

小学校9校のうち6校にはエレベーターが未整備であり、要配慮児童が在籍する小学校への整備を急ぐべきだ。

※要配慮児童生徒等

円滑な移動等に配慮が必要な児童生徒や教職員等を指す。

吉田 教育長

教育環境の整備を図る上においても、災害時の避難所としての役割の面からも小中学校のバリアフリー化は大変重要であると考える。

また、要配慮児童生徒が在籍している学校の優先度は高いと考えており、このことを踏まえて整備目標を定めて進めて行きたい。

今後、整備計画をもとに、国の財政支援策を活用しながら施設整備に努めたい。

その他の質問

Q 定年引き上げに伴う、町職員定員適正化計画を策定せよ。

A 策定に向け取り組んでいる。



西村 稔 議員

改める用意があるか

現制度を基本としたい

入札制度

西村 議員

町発注の建設工事の入札制度では、見積り金額がピツタリ合うコンピュータソフトがあれば、入札参加全社が最低制限価格になり得る可能性がある。

今の入札方式は、本来求めている入札方式ではないと考える。改める用意があるかを問う。

矢田 町長

当町の入札制度については、これまで通り、利害関係者等の働きかけから職員を保護し、工品質の低下などを防止する観点から、県および県内市町と同様、予定価格の事前公表および落札の下限となる最低制限価格を用いた入札の実施を基本としたいと考えている。

他の制度についても調査検討を行う。

通学路

点検での危険箇所は

改善しながら整備を進める

西村 議員

国では大変無残な事故の発生をもとに、通学路の安全確保の検討に入ったと報道された。

町の点検では危険箇所が何箇所あったのか。また、どのように改善するかを問う。

吉田 教育長

2学期開始前の8月26日に合同点検を実施した。今年度、小中学校から危険箇所として報告が上がったのは14箇所、合同点検では、横断歩道のライン補正など、安全確保に向けての方策について意見交換し、対応策を確認した。

危険箇所を1箇所1箇所改善しながら通学路の整備を進める。

その他の質問

Q 道路清掃はどのような方法で行っているか。

A 常時のパトロールに加え、地域と協力しながら進めている。



▲歩きやすい歩道に

サークル紹介 第48回

フォークダンスつつじ



代表 出見世 裕子
でみせ ひろこ

会員もいます。クリスマスパーティー等の行事では和気あいあい会員相互の親睦も深まり、健康寿命も伸びる気がします。

《ミニインタビュー》

Q これからどんな町になってほしいですか？

A 産業・教育・福祉が充実していて、特にシニアにやさしい町、一人暮らしになっても住みやすい便利な町を期待します。

Q 津幡町の好きなスポットはどこですか？

A 春は桜、秋は紅葉が素晴らしい、自然の森林がそのまま四季折々の景色が楽しめる石川県森林公園です。

◆活動場所と時間

津幡地域交流センター
 毎週火曜日
 9時30分～11時

◆連絡先

☎2888-5583
 (出見世)

ザ・ロード・オブ議会改革

当議会では、本年6月に念願の議員一人につき一台のタブレット端末を導入した。ペーパーレス化は無論のこと、タブレット端末の積極的な利用を通し、ネットワークを活用し、情報の共有を図った。

その一環として、タブレット端末を使った防災訓練を9月2日に初めて実施。町内で震度5強の地震が発生したと想定し、タブレット端末による安否確認、現場を撮影した写真を送る訓練、役場に来られない議員を想定したリモート会議も実施した。

今回の訓練を教訓に、日頃からタブレット端末を操作し、万が一に備えたい。
 (議会改革検討特別委員会 委員長 八十嶋孝司)



議会傍聴のお知らせ

12月会議は、12月6日(月)10時からの予定です。

■受付日時
 12月6日(月)午前9時～

■受付場所
 役場庁舎4階 傍聴ロビー

◎日程は変更になる可能性があります。詳しくは町議会ホームページをご覧ください。左記までお問い合わせください。
 (お問い合わせ)

議会事務局

TEL 28866410

表紙の題字は

井上小学校6年
 英 篤玖さんの作品です。



井上小学校のよいところは、元気に朝のあいさつができることです。そして男女関係なく遊び、みんな仲がよいところです。これからもみんなで明るい学校にしていきたいです。

議会インターネット中継

本会議の映像をインターネット (YouTube) でご覧いただけます。



スマホでも視聴できます



インターネット中継

議会だよりの感想をお寄せください！



議会メールアドレス